



Watcher Pro2 Aqua オプションセンサ  
溶存酸素(DO)センサ(蛍光式)(NBI-SSWDO0102)

取扱説明書

V1.0J

はじめに

- ・ 使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
- ・ 本書の操作手順および注意事項をお守りください。
- ・ 機器が故障した場合は、ご自身で修理せず [support@techsor.co.jp](mailto:support@techsor.co.jp)

にお問い合わせください。

# 目 次

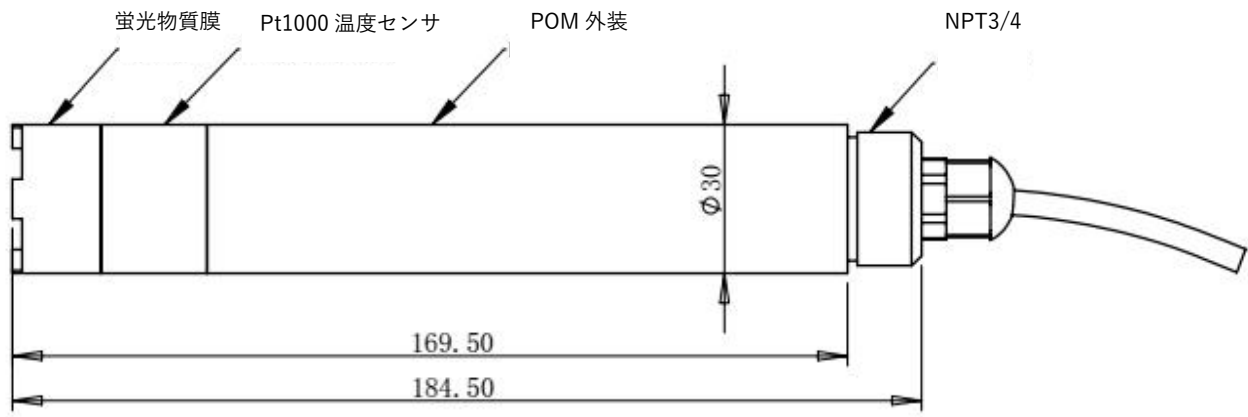
1.製品仕様	4
1.1 技術仕様	4
1.2 寸法	5
1.3 外観	5
2.設置および電気接続	6
2.1 取り付け	6
2.2 ノードセットとの接続	6
3.メンテナンス	6
3.1 メンテナンススケジュールおよび方法	6
3.1.1 メンテナンススケジュール	6
3.1.2 メンテナンス方法	7
3.2 よくあるエラー	8
3.3 センサの校正	8
3.4 注意事項	9

# 1.製品仕様

## 1.1 技術仕様

モデル名	NBI-SSWDO0102
測定原理	蛍光法
測定範囲	0~20mg/L(0~200%飽和度)
分解能	0.01mg/L 0.1°C
精度	±3%F.S. ±0.5°C
温度補正	自動温度補正(Pt1000)
動作温度	0~45°C <0.2MPa
保存温度	-5~65°C
設置	液浸式
ケーブル長	5m (カスタマイズ可能)
防塵/防水	IP68
蛍光センサ寿命	1年間保証(通常使用時)
ハウジング材料	POM および SUS 316L

## 1.2 寸法



## 1.3 外観



## 2.設置および電気接続

### 2.1 取り付け

温度検知部が液面より下になるように、センサ本体の2/3以上を対象液体に挿入してください。蛍光物質膜ヘッド部は堆積物等の付着を避ける必要があります、センサの寿命を延ばすために、ブラシキットと共に使用することをお勧めします。

### 2.2 ノードセットとの接続

センサの5ピン防水コネクタをノードセット本体のセンサコネクタに差し込みます。

配線完了後は、電源投入前に正しく接続されているか必ず確認してください。

**ケーブル仕様:**ケーブルが水(海水を含む)や大気に長時間浸漬または晒されることを想定した耐候性を有しています。ケーブルの外径はΦ6mm、全ての接続口は防水加工されています。

## 3.メンテナンス

### 3.1 メンテナンススケジュールおよび方法

#### 3.1.1 メンテナンススケジュール

作業	推奨頻度
洗浄	1回/1ヶ月
センサ・蛍光キャップ破損確認	1回/1ヶ月
蛍光キャップ交換	1回/1年
校正	読み取りエラー値による

注:表に記載の頻度は推奨頻度です。実際にはセンサの使用状況に合わせて実施してください。但し、蛍光キャップの交換頻度については Min 年 1 回をお勧めします。

### 3.1.2 メンテナンス方法

※センサ外装は、水道水で洗浄します。残渣が残っている場合は柔らかい布かブラシで拭き取り、汚れがひどい場合は水道水に家庭用洗剤を加えて洗浄してください。

①蛍光キャップ外部:センサ先端の保護カバーを取り外し、センサ窓の汚れを清浄水で洗浄します。拭き取り時は、柔らかい布かブラシを用い注意深く行います。蛍光物質膜やセンサを傷つけてしまうと正常に動作しません。

②蛍光キャップ内部:蛍光キャップの内側に水分やほこりが侵入した場合の清掃手順は以下の通りです。

- 蛍光キャップを取り外します
- 蛍光キャップの内側を水道水で洗い流します
- 油脂等が付着している場合は家庭用洗剤を加えた温水で洗浄します
- 蛍光キャップの内部を脱イオン水で洗浄します
- 清潔な布で表面をやさしく拭き取ったあと乾燥した場所に置き水分を完全に蒸発させます

③センサのケーブルの確認:ケーブルが強く締め付けられていないか確認します。

強い締め付けはケーブルを破損し誤動作を誘発する可能性があります。

④センサハウジング状態の確認:腐食などによる損傷がないかを点検してください。

⑤蛍光キャップの日常保存:保存時は湿ったスポンジ等を保護カバーに挿入してセンサを長時間濡らしておきます。蛍光キャップのヘッド部が長時間乾燥していると測定値がドリフトする場合があります。使用前に 48 時間程度水に浸すことで回復します。

### 3.2 よくあるエラー

エラー内容	原因	解決方法
インタフェース接続不能	ケーブル接続不良	ケーブルを再接続します
または 測定結果の非表示	ケーブル故障・断線	お問い合わせください。
高すぎる測定値	蛍光キャップ外側の異物付着	蛍光キャップ外側を洗浄 測定中にプローブで攪拌
低すぎる測定値	蛍光キャップ破損	蛍光キャップ交換
測定値が連続的に不安定	蛍光キャップオーバーライフ	
温度測定値が測定可能範囲を超える 温度測定値が不良	温度センサの異物付着	柔らかい布かブラシで拭き 取り洗浄

### 3.3 センサの校正

校正プロセスについては、NBI 水産校正ソフトウェアマニュアルを参照してください。



### 3.4 注意事項

- 蛍光キャップ内側を日光に晒さないでください。
- 蛍光物質膜に手を触れないでください。
- 測定および校正時には蛍光物質膜表面の気泡付着を回避します。
- 使用中は蛍光物質膜に直接機械的ストレス(圧力、傷等)を与えないでください。



709, Building 2, Xunmei Technology Plaza,

Nanshan District, Shenzhen

[www.nongbotech.com](http://www.nongbotech.com)

+86 (0) 755-36309585

日本総代理店

株式会社テクサー

〒105-0013 東京都港区芝2丁目5-19 ITOビル5階

TEL:03-6803-4317 FAX:03-6803-4318

[www.techsor.co.jp](http://www.techsor.co.jp) | [support@techsor.co.jp](mailto:support@techsor.co.jp)

ZETA アライアンス

[www.zeta-alliance.org](http://www.zeta-alliance.org) | [info@zeta-alliance.jp](mailto:info@zeta-alliance.jp)